お金の心配なく学び続けたい　**学生のみなさんへ**

（2026年度）

高等教育の修学支援新制度
～返還不要の支援が受けられます！～

以下の世帯が制度の対象です
- 一定年収以下の世帯
- 多子世帯

まねこ先生
学びたい学生を見守る世話好きの先生

まなびーニャ
大学に行って学んだことを生かし、学校の先生になりたい

注目！

給付型奨学金の支給

＋

授業料等減免の支援

授業料・入学金の**免除/減額**

きょうだいが3人以上であれば授業料・入学金の減免の対象に！

申請期間　**2026年4月～6月・9月～11月**

ⓘ 学校ごとに締切日が異なります。
詳しくは学校に相談のうえ、手続きはお早めに。

［対象となる学校］　大学･短期大学･高等専門学校（4年･5年）･専門学校

ポイントは次頁へ ▶▶

独立行政法人
日本学生支援機構
JASSO Japan Student Services Organization

くわしくは
LINE公式アカウントへ
「高等教育の修学支援」

文部科学省

学生のみなさん！

高等教育の修学支援新制度を知っておこう！

在学中の人で、以下の世帯の人は
条件を満たせば支援を受けられます！
・一定年収以下の世帯に属する人（Point３参照）
・多子世帯に属する人（Point４参照）

▶貸与型奨学金を借りている人へ

新制度なら給付型奨学金や授業料等減免を受けられる可能性があります

▶今まで奨学金や授業料等の免除・減額を受けていなかった人へ

支援の内容が充実しているので確認してみましょう

Point1 どんな人が対象になるの？

要件を満たす人全員が支援を受けられます。
※学業成績や世帯収入は、引き続き基準を満たしているかを毎年確認します。

世帯収入などの要件を満たしていること

学ぶ意欲があること

成績だけで判断せず、レポートなどで学ぶ意欲を確認

基準を満たす世帯収入は、家族構成等により異なります（Point3 参照）。

この他にも要件があります。詳しくはJASSOや文部科学省のホームページ、JASSOホームページ掲載の「給付奨学金案内」等で確認してください。

給付奨学金案内

Point2 どのくらい支援を受けられるの？

返還不要の奨学金と授業料・入学金の免除・減額の、二つの支援を併せて利用できます。
住民税非課税世帯（満額支援）の場合は、下記の額が支給・支援されます（その他の場合については、Point3へ）。

（住民税非課税世帯<満額支援>の場合）

区　分		給付型奨学金の支給年額		免除・減額の年額	
		自宅通学	自宅外通学	授 業 料	入 学 金
大学	国公立	35万円	80万円	54万円	28万円
	私　立	46万円	91万円	70万円	26万円

◆支援額は単位未満を四捨五入しています。
◆返還不要の支援を受けている期間は、貸与型奨学金（無利子）の貸与額が調整（減額又は増額）されます（振込額が０円になる場合があります）。
◆その他の学校や区分については、右の二次元コードからご確認ください。

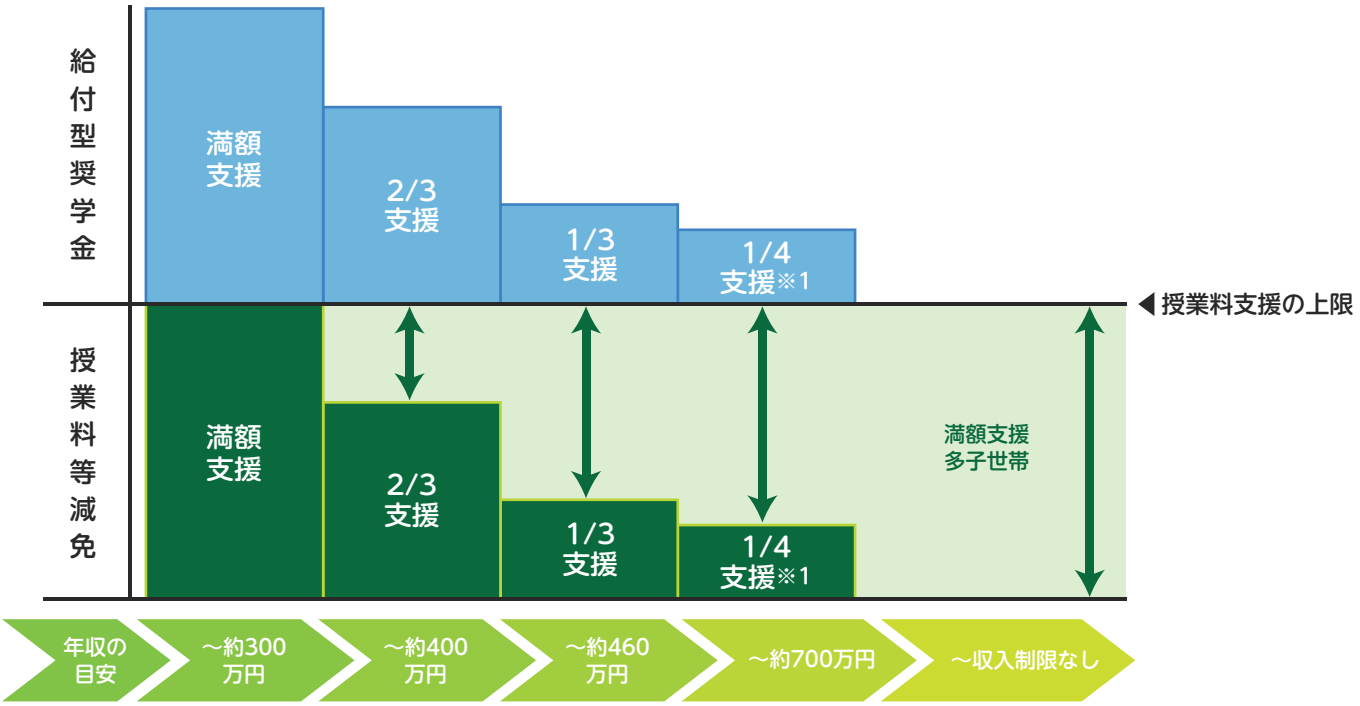
給付型奨学金の支給月額

免除・減額の年額

Point3 世帯収入によって支援を受けられる額が変わるの？

世帯構成や収入などに応じて支援額が決まります。
（多子世帯の場合、収入に関わらず一定額まで授業料・入学金が免除になります。）

「進学資金シミュレーター」（右下の二次元コードよりアクセス）で、支援額や給付型奨学金の月額を試算することができます。



■「多子世帯支援」（扶養する子供の数が３人以上いる世帯）の詳細は、Point4 をご覧ください。

※1　１／４支援については、
- 多子世帯の場合に、給付型奨学金（満額の１／４）及び授業料等減免（上限額まで）
- 私立学校理工農系学部等の場合に、給付型奨学金の支給はありませんが、授業料等減免（支援上限額の１／３あるいは１／４）

の支援が受けられます。

自分が支援の対象になるか調べてみよう。

進学資金シミュレーター

(!) 春に申し込んで対象外だった場合も、秋に再度申し込むことで支援対象となる可能性があります。

Point4 多子世帯支援とは？

きょうだいが３人以上の世帯が対象となります（あなたが生計維持者の住民税上の扶養に入っており、かつ、生計維持者の住民税上の扶養する子供の数が３人以上の場合）。
（子供の数が３人以上いる間、第１子から支援）

授業料・入学金は収入制限なく下表の金額を上限に支援が受けられ、給付型奨学金は収入に応じた支援額（満額～１／４額）が支給されます。

(!) 収入の基準を超える場合は、給付型奨学金の支給はありません。

授業料・入学金の支援の年額

区分	国公立		私立	
	授業料	入学金	授業料	入学金
大学	54万円	28万円	70万円	26万円
短期大学	39万円	17万円	62万円	25万円
高等専門学校	23万円	8万円	70万円	13万円
専門学校	17万円	7万円	59万円	16万円

どのような場合に対象となるかなど詳細はこちら

◆支援額は単位未満を四捨五入しています。
◆多子世帯支援を受けている期間は、貸与型奨学金（無利子）の貸与額が調整（減額又は増額）されます（振込額が0円になる場合があります）。

主なスケジュール

2026年4月から支援を受けようとする場合のスケジュールは次のとおりです。

2026年 ～4月	準備	 本人	文部科学省やJASSOのホームページで、制度の詳細を確認し、学校から申込書類をもらいましょう。 困ったときは学校や奨学金相談センターに相談してみましょう。
4月～5月	在学採用 申込み	 本人	インターネットで申込み及びマイナンバー（本人・生計維持者分）の提出を行います。 その後、「奨学金確認書兼地方税同意書」を JASSO に郵送します。 ⓘ 申込期間は学校により異なりますので、在学中の学校に確認してください。
（申込後）	推薦	 学校	学業成績・学修意欲などを確認のうえ、JASSOに推薦します。
7月頃	支援開始	 学校 JASSO	利用できる支援（給付型奨学金、授業料・入学金の免除・減額、貸与型奨学金（申込者のみ））を通知したうえで、対象者に4月分から支援を行います。

information

くわしい情報はこちら

まずは、ＬＩＮＥ公式アカウント
「高等教育の修学支援」に、ぜひご登録ください。

scan here

https://line.me/R/ti/p/%40222cbxug

奨学金に関するより詳しい情報は、
こちらからもご覧いただけます。

scan here

「給付奨学金」
日本学生支援機構　奨学金ホームページ
https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/kyufu/index.html

支援内容や手続きなどについて、誰かに相談したいときは・・・

奨学金に関するよくある質問を、
掲載しています。

日本学生支援機構　奨学金相談サイト
https://www.shogakukinsupport.jp/

一般的なお問い合わせの相談窓口です。
日本学生支援機構　奨学金相談センター
電話：0570-666-301（ナビダイヤル・全国共通）
月曜日～金曜日　9時～20時（土日祝日、年末年始を除く）

◆奨学金の申込手続きは在学中の学校で行います。
手続きのスケジュールや個別の提出書類は、在学中の学校に相談してください。